

国立大学法人 長岡技術科学大学
平成30年度第4回経営協議会議事要旨

日 時 平成31年1月25日（金）13時30分～15時20分
場 所 KKRホテル東京 朱鷺
出席者 東議長、天羽委員、池田委員、大貝委員、合田委員、五味委員、谷口委員、中野委員、鎌土委員、三上委員、秋山委員、佐藤委員、中出委員、大石委員
(議事の表決委任による出席 磯田委員、トラン委員)
欠席者 関委員
陪席者 齋藤監事、滝上監事、和田附属図書館長
事務局 総務部長、大学戦略課長、企画・広報室長、総務課長、財務課長、監査室長、
総務課課長補佐、財務課課長補佐、総務課総務係長、総務課総務係員

議事に先立ち、平成30年度第3回議事要旨(案)について説明があり、案のとおり承認した。

審議事項

1. 2019年度長岡技術科学大学予算編成 重点方針について

秋山委員から、資料1に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

主な質疑応答は以下のとおり。(○：学外委員からの質問、意見等 ●：学内委員からの回答)
○方針を掲げることは容易だが、実行することは難しい。具体的にどう取り組むかを計画して着実に実行してほしい。

●目標は高く掲げた。その目標に向かって、いろいろな実行計画も練っている。

例えば、SDGsのゴール達成に向けて進めているところ。SDGsを糧に企業等から支援いただける仕組みを考えている。

○40周年を迎え、その後、卒業生とのネットワーク作りについて、現況はどうか。

●交友会を設置し、ここに同窓会を取り込みネットワークの強化を図る。まずは名簿を作成している。

また、昨年度に基金・卒業生室を設置し、ホームカミングディの開催や、寄附をもらえるような仕組みを作った。。

○同窓会の目的は寄附を集めるためではない。大学の名のもとに結束し、大学のステータスを上げることが重要であり、寄付金はその次となる。関係者のネットワーク強化を目的とすることを明言する必要がある。大学と繋がっているという意識を卒業生に持たせ、強化することが良い。

●卒業生のネットワークを作ることは、卒業生にとっても必要と考えている。

本学として、卒業生にどのようなサービスができるか示していきたい。

○同窓生には技大の先生や、長岡に居住する者もいる。

例えば、大学内に同窓生が集まれるスペースを作って、大学と一緒に何かを起こすなど、身近な同窓生からできることを考える方策もある。

○高専の卒業生や、本学の卒業生で、ベンチャーを立ち上げ上場している人がいる。

ベンチャーを育てる方針を明確にし、戦略項目にも記載することが良い。

●これまでは、同窓生に対する情報配信が不足していたと感じている。

一方で、同窓生のうち高専卒業生は、出身高専者間のつながりが強く、大学同窓生とのネットワークの必要性が希薄かもしれない。

○海外勤務のOBの周辺で技術相談等を行うこともサービス提供。収入増として考えられる。

○組織を発展させるためには、内部統制も強化することである。

内部統制の一つとして重要なのは、サイバーセキュリティの対策で、これをマネジメントすること。

●内部統制を強化したい。また、サイバーセキュリティ対策についても進めていきたい。

報告事項

1 就業規則の改正について

秋山委員から資料2に基づき、報告があった。

2 2019年度長岡技術科学大学予算の内示について

秋山委員から資料3-1及び3-2に基づき、本学の予算の内示状況及び文部科学省関係予算の主なポイントについて、報告があった。

なお、文部科学省から運営費交付金の内示がないため、次回の本会議において報告する旨の説明があった。

主な質疑応答は以下のとおり。(○：学外委員からの質問、意見等 ●：学内委員からの回答)

○運営費交付金の評価結果によってどのくらいの影響があると考えているか。評価による配分額への影響は年々高まる。配分結果をシミュレーションし対応策を検討しておいた方が良い。

また、悪いイメージよりも、チャンスと捉えて良い方向性にしていくことも重要である。

●いずれは数億くらい自前で稼ぐ覚悟でやっていかないといけない。

○評価に基づく資源配分の共通指標の項目で、人事給与等のマネジメント改革について、状況はいかがか。

●教員評価の制度を見直し、業績評価を導入した。年俸制適用者には既に実施済みで、それ以外の者は、来年度から評価を始める。

○外部資金獲得者には、インセンティブとして給与へ反映されているか。

●勤勉手当や昇給に反映している。この他に、報奨制度を設けている。

3 改組について

鎌土委員から資料4に基づき、2021年4月に予定している教育組織の再編の検討状況について報告があった。

○学科を改組して、I T分野の課程を作るイメージか。

●I T分野は現在も、情報・経営システム工学課程がある。情報に特化した課程を新設するのではなく、既存の課程等を改組し、I T分野を含め各分野の教育を強化する方向で進めている。

○I T分野は情報だけ教育しても役に立たない。どのような分野にデータを応用していくかがポイントである。

●各分野のコースにI Tや情報などの教育の横串を入れる。現状の課程等を組み換え、分野を横断する複合領域のイメージで検討している。具体的な構想が固まればお示しする。

4 2019年度長岡技術科学大学経営協議会開催日程について

事務局から資料5に基づき、報告があった。

以 上